

第2回獣医学教育改革委員会シンポジウム（第149回獣医学会：2010年3月日本獣医生命科学大学）

2010年3月28日（日本獣医生命科学大学 第3会場）

テーマ：獣医学教育が目指すコアカリキュラムとeラーニングコンテンツ

座長：橋本善春（北海道大学）

特別講演 E-learning in Germany and Europe – Current status and Future Perspectives
Sven Reese (University of Munich)

1) 獣医学教育モデルコアカリキュラムの目指すもの

- ・導入教育・基礎獣医学分野の目指すもの 西原真杉（東京大学）
- ・病態獣医学分野のコアカリ作成の現状 片本 宏（宮崎大学）
- ・応用獣医学分野コアカリキュラム 田村 豊（酪農学園大学）
- ・臨床獣医学分野コアカリキュラム 佐藤れえ子（岩手大学）

2) eラーニングコンテンツ作成の試みとそれらが目指すもの

- ・eラーニングが補完すべきものは何か？ 伊藤勝昭（宮崎大学）
- ・獣医放射線学 稲波 修（北海道大学）
- ・獣医寄生虫学のeラーニングが目指すもの 片倉 賢（北海道大学）

3) 獣医学全国共用試験の目指すもの

- ・獣医学全国共用試験のめざすもの —獣医学共用試験調査委員会—
高井伸二、浅井史敏、新井敏郎、大野耕一、鎌田 寛、北側 均、杉山 誠、山下和人（北里大、麻生大、日獣大、東大、日大、岐阜大、酪農大）

4) 総合討論 獣医学教育改善を目指して：「コアカリキュラム、eラーニングコンテンツ、および獣医学全国共用試験の役割と導入時に留意すべき点」